

利根保健生協 2022年5月現勢

生協組合員.....29,318人

出資金額.....1,646,471,000円

平均出資金額.....56,159円

理事33名 監事4名 総代212名 班長1,499名

*5月の新規加入組合員数は、47人でした。

利根の保健

発行人 大塚隆幸
発行部数 21,600

編集 「利根の保健」編集委員会
印刷 有限会社コトブキ印刷

利根保健生活協同組合

〒378-0053 沼田市東原新町1861番地1
☎0278(22)6060 FAX(22)6262

利根中央病院 沼田市沼須町 ☎(22)4321
片品診療所 片品村鎌田 ☎(58)3910
利根中央診療所 沼田市西原新町 ☎(24)1202
利根歯科診療所 沼田市高橋場町 ☎(24)9418
生協みなかみ歯科 みなかみ町後閑 ☎(25)3399
介護老人保健施設とね 沼田市東原新町 ☎(22)8855
サニーホームひまわり 沼田市高橋場町 ☎(22)3223



や啓発活動をすすめました。利根中央病院では、発熱外来の設置や陽性者の入院受け入れ、PCR検査やスクリーニング検査、地域の高齢者施設の感染対策の点検など、コロナ禍で求められる医療の基幹病院としての最大限の対応を行いました。

2022年度方針

「ウィズコロナ」や「国際平和」を掲げ、「人のつながり」や「いのち」を守る取り組みを広げます。そして「事業と運動」で「安心して暮らせるまちづくり」をすすめ、地域社会活動のさらなる高みをめざし前進します。

「住所不明組合員のみなし脱退手続きに関する規程」を確認、処理をすすめています。今後はコロナの感染状況をみながら、郵送による所在確認の対象範囲の拡大を予定しています。

2021年度のまとめ

各事業所では、自治体や地域の医療機関などと連携・協力して、コロナワクチン接種

「住所不明組合員のみなし脱退手続きに関する規程」を確認、処理をすすめています。今後はコロナの感染状況をみながら、郵送による所在確認の対象範囲の拡大を予定しています。

2021年度のまとめ

各事業所では、自治体や地域の医療機関などと連携・協力して、コロナワクチン接種

ご縁があつて、7月から泌尿器科で勤務させていただくことになりました。これからの利根中央病院の泌尿器科は、外来診療だけでなく、新たに入院での診療（検査や手術も含めた治療など）も開始していきます。近隣機関とも連携しながら、地域の皆様に貢献できるように精進いたします。

山田忠夫顧問は、今期をもちまして顧問を退任されました。2003年から8年間、理事として就任し、2011年から5年間は理事長としてご尽力いただきました。2016年から6年間顧問としてご指導いただき、任期満了によって退任されました。

- ### 組合員活動表彰
- 総代会の方針を積極的に実践し「事業と運動」への貢献度として表彰されました。
- ### 支部活動の表彰
- 支部ニュースを11ヵ月発行：沼田東、白沢
 - 教育学習月間におけるSDGs宣言と活動の実践：月夜野東、月夜野西、水上、猿ヶ京、須川、新巻
 - 毎回の支部運営委員会でCOMCOMの読み合わせを実施：利根北
 - 理事と支部運営委員の全員が通信教育を受講し修了：猿ヶ京
 - 生協強化月間で地区を決めての全戸訪問をおこない、名義変更をすすめた：昭和東
 - 支部でミニグラウンドゴルフ大会を開催し、つながりづくりをすすめた：片品
 - シトラスリボンを作成して自治体や村社協へ贈呈：沼田北、昭和南
 - 新たな企画「わがまち探検&クリーン大作戦」へのとりくみ：沼田東、昭和東、川田
- ### 班活動の表彰
- 【班会】年6回以上開催
中野合同班（川場）7回、入原合同班（昭和南）12回
つきよのいきいきサロン（月夜野東）10回
 - 【サークル活動】年10ヵ月以上行い、平均参加者数が10人以上
健康卓球クラブ（沼田東）年10ヵ月・平均参加者数13人
健康卓球教室「ゆうゆう」（沼田東）年10ヵ月・平均参加者数11人
東原八木節愛好会（沼田東）年10ヵ月・平均参加者数10人
- ### 模範活動表彰
- ① 糸びす講での健康チェックを通じて、地域住民に生協活動をアピール：中央ブロック

第46回 通常総代会

「事業と運動」で「安心して暮らせるまちづくり」を

新緑が目に見え、花も元気に咲く一年で過ぎやすい季節、私は大好きです。しかし今年も、激しい雷雨や真夏日続出、大粒のひょうも降り、異常気象を肌で感じました。国内の異常気象も多発しています。が、降雨量の実態から群馬県の防災マップが大幅に改定されました。これまで安全だと思っていた場所が、洪水・土砂崩れ想定区域に指定されている場合もあり、身近な地域の危険個所の点検が必要でしょう。▼なぜ異常気象が多くなったのでしょうか。異常気象の原因の大半は、偏西風の蛇行や台風などの大気の流れ、エルニーニョ/ラニーニャといった大気の内外部変動や海洋との相互作用とされてきました。しかし最近では、大気中の温室効果ガス濃度の高まりに伴って地球の平均気温が上昇することで降雨パターンが変動し、異常気象の発生頻度が高まったと言われています。▼自然災害による被害をこれ以上広げないために、日本は昨年4月、2030年度までに温室効果ガスを46%削減（2013年比）、2050年度までに実質ゼロにすることを国会で採択しました。省エネルギー化や自然エネルギーへの転換など、大企業や中小企業そして私たち個人にも求められています。異常気象の発生は経済活動のあり方だと指摘している経済学者の声もあります。▼私たちの個人ができることは、ゴミの量を減らしたり電気使用量を減らしたりと小さな積み重ねですが、未来の子どもたちが安心して暮らせる自然環境への意識を持つことが大切だと思います。（病院事務局長・五十嵐）

山田忠夫顧問は、今期をもちまして顧問を退任されました。2003年から8年間、理事として就任し、2011年から5年間は理事長としてご尽力いただきました。2016年から6年間顧問としてご指導いただき、任期満了によって退任されました。

ご縁があつて、7月から泌尿器科で勤務させていただくことになりました。これからの利根中央病院の泌尿器科は、外来診療だけでなく、新たに入院での診療（検査や手術も含めた治療など）も開始していきます。近隣機関とも連携しながら、地域の皆様に貢献できるように精進いたします。

新緑が目に見え、花も元気に咲く一年で過ぎやすい季節、私は大好きです。しかし今年も、激しい雷雨や真夏日続出、大粒のひょうも降り、異常気象を肌で感じました。国内の異常気象も多発しています。が、降雨量の実態から群馬県の防災マップが大幅に改定されました。これまで安全だと思っていた場所が、洪水・土砂崩れ想定区域に指定されている場合もあり、身近な地域の危険個所の点検が必要でしょう。▼なぜ異常気象が多くなったのでしょうか。異常気象の原因の大半は、偏西風の蛇行や台風などの大気の流れ、エルニーニョ/ラニーニャといった大気の内外部変動や海洋との相互作用とされてきました。しかし最近では、大気中の温室効果ガス濃度の高まりに伴って地球の平均気温が上昇することで降雨パターンが変動し、異常気象の発生頻度が高まったと言われています。▼自然災害による被害をこれ以上広げないために、日本は昨年4月、2030年度までに温室効果ガスを46%削減（2013年比）、2050年度までに実質ゼロにすることを国会で採択しました。省エネルギー化や自然エネルギーへの転換など、大企業や中小企業そして私たち個人にも求められています。異常気象の発生は経済活動のあり方だと指摘している経済学者の声もあります。▼私たちの個人ができることは、ゴミの量を減らしたり電気使用量を減らしたりと小さな積み重ねですが、未来の子どもたちが安心して暮らせる自然環境への意識を持つことが大切だと思います。（病院事務局長・五十嵐）

2022年度の重点課題

- ①多くの団体とのつながりづくりを大切にし、新たな健康づくりやまちづくり活動に挑戦し、安心のネットワークを強化します。
- ②利根中央診療所と訪問看護の体制や機能強化を図り、事業所間連携を推進して、高齢化社会で高まる在宅療養のニーズに応えます。
- ③地域組合員と職員組合員の活動交流の機会を定期的につくり、互いの理解を深めながら「医療福祉生協の人づくり」をすすめます。
- ④コロナ禍で深刻化した貧困や格差などの社会的問題へ目を向け、「助け合い活動」や「なんでも相談窓口」「フードドライブ活動」等のくらしの助け合いの輪を広げます。

企画・広報活動

- 地域医療講演＆懇談会は、地域住民が関心のある身近な話題で準備
- 「子育て応援アンケート」からの要望や悩み等をもとに、生協の医療介護の専門職の協力を得ながら多彩な企画を実施
- 「LINE」などのSNSを活用した新しい形での広報へ挑戦



健康づくり活動

- 「保健講話」や「手洗い教室」、「健康チャレンジ」で学校や他団体とのつながりを広げる
- ハイキング・ウォーキングは複数回の開催をめざし、組合員同士の交流と健康増進をすすめる
- オーラルフレイルを予防するために、ロングピロピロやタスクル、長息生活を活用し、マスクの下に隠れるお口の健康を守る



組合員活動

- 多世代でのつながりづくりや組合員の枠を超えたつながりづくり
- 「支部ニュース」をすべての支部で発行
- 定期的な高齢者の見守り訪問や名義変更を呼びかける地域を決めての全戸訪問

平和・社会保障活動

- 原水爆禁止世界大会や国民平和大行進など、平和を守る活動を様々な団体と協力してすすめる
- 「いのち・くらしを守る相談会」の継続、定期的な開催

まちづくり活動

- 「居心地よくくらすまちづくり」を実践
- 複数の各自治体と地域見守り協定を締結
- 「助け合い活動」を身近なとりくみに
- 本部周辺地域の利活用は、地産地消にとりくむ市場を発展

2022年度 予算

事業収益	89億5,000万円
事業費用	88億1,500万円
経常剰余金	1億1,000万円
出資金純増額	2,000万円

利根中央病院

- 新型コロナ疑似患者・陽性患者の受け入れやワクチン接種にとりくむ
- 中長期的な新規事業として心不全患者の地域連携を構築するためにプロジェクトを立ち上げる
- 産婦人科医師の確保および中長期的に必要な診療科医師を確保する

利根中央診療所

- 各事業所と連携しながら、組合員や地域住民の健康を守る
- 訪問診療は持続可能な診療体制を構築し、地域で広く安心の在宅療養を支える

片品診療所

- 地域包括ケアの担い手として多くの事業所と連携を図り、地域住民の要求に応える
- 訪問診療に積極的にとりくみ、生活の場での患者サービスに努める

利根歯科診療所

- 安心・安全・信頼の歯科医療と、納得・満足のいく歯科治療を追求する
- 健康寿命延伸のために、口腔機能の大切さとオーラルフレイル予防を広める
- 一生涯関われる歯科診療所として生活支援を追求する

生協みなかみ歯科

- 医療の質と患者満足度を追求する
- 通院困難や地域包括ケア等に対応できる運営を行う

サニーホームひまわり

- 経営対策と職員教育にとりくむ

介護老人保健施設とね

- 自立した在宅生活が継続できるよう、他事業所連携で総合的に支援し、家族の介護負担軽減に努める
- 老健とね入所では安定したベッド稼働を維持する
- 通りハ・短りハは連携し経営対策と質の向上にとりくみ、在宅支援を継続する
- ヘルパーステーションでは老健と連携し職員確保と質の向上に努める

まちづくり活動



2021年度のまとめと2022年度 活動方針

事業の経過及びその成果

- 沼田市と懇談を重ね、市の計画と連携した生協の新規介護事業計画を作成し、群馬県の第8期介護保険事業計画として応募しました。
- 本部周辺の土地活用計画は、年度後半より具体的なプラン検討がすすみ交流企画を立案(生協ハート市など)しました。
- 老朽化した職員宿舎の具体的検討をすすめ、中期的な計画を作成しました(職員確保を想定)。
- 法人のBCP(事業継続計画)を作成し、事業所毎の災害対策マニュアル作成の足がかりとなりました。

企画・広報活動

- 身近な地域の再発見とまちの美化「わがまち探検&クリーン大作戦！」を提案
 - 沼田東支部、昭和東支部、川田支部を実施
- 子育てママさんに役立つ企画の開催をめざして「子育て応援アンケート」を実施
 - チラシを配布し 218 件の回答
- 当生協の事業を地域住民の皆さんに知っていただく「介護をテーマに地域懇談会」を計画



健康づくり活動



手洗い教室
計16回開催



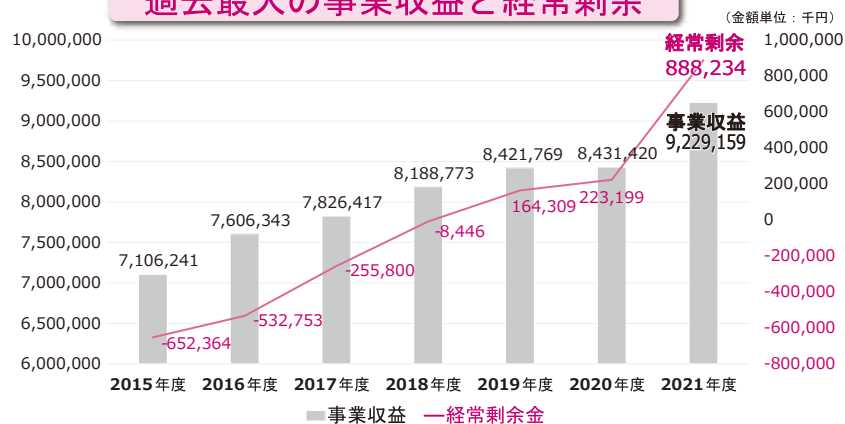
保健講話
計23回開催



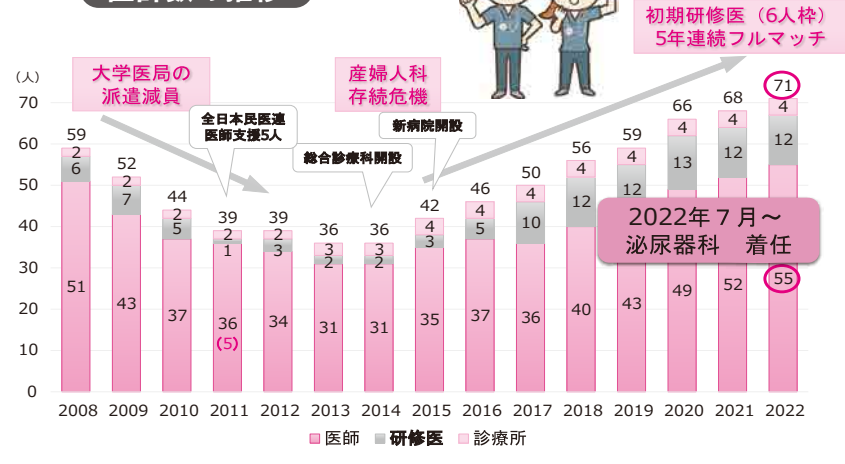
新たな取り組み
4色あしぶみラダーを
数か所で実施

事業収益と経常剰余金の年度推移

過去最大の事業収益と経常剰余



医師数の推移



まちづくり活動



沼田市と「地域見守り活動に関する協定書」を締結



偶数月の第3土曜日
定期的(隔月)に
フードドライブ活動「おすそわけ」を開催



▲ピロピロでオーラルフレイル予防

2021年度の活動比較

2021年度の活動比較

※ 赤字は前年度より増加

	2019年度	2020年度	2021年度
子ども食堂開催回数	11回	0回	(弁当配布)4回
大人食堂開催回数	2回	0回	0回
ブロック別総代会開催数	5回	0回	1回
支部総会開催数	23回	0回	10回
支部運営委員会開催回数	205回	183回	122回
手洗い教室	13回	3回	16回
まちかど健康チェック開催回数	38回	14回	6回
健康チェック総数	8,820回	1,992回	1,562回
地域訪問件数	5,408件	686件	1,996件
班会開催数	468回	128回	103回
サークル活動開催数	1,055回	976回	1,039回



▲なんでも相談「フリーダイヤル開設」



0120-034-321 (無料)
受付時間(祝日を除く)
・月～金曜 9:00～16:30
・土曜 9:00～12:00

支部総会はじまる! 第一弾

沼田中支部



初めての人がいればベテランの人もいましたが、輪投げ大会で交流しました。

利根北支部



グラウンド・ゴルフで地域の組合員と一緒に汗をながしました。

県警戒レベルが2や1へ下がったため、感染対策を行ったうえで5月9日～6月25日にかけて各支部で総会を開催しました。

それぞれ多彩な催しを企画し、久しぶりに連携職場も参加し交流ができました。

沼田西支部



薄根川サイクリングロード周辺のクリーン作戦と一緒に職員も行いました。

新巻支部



感染対策として紙を丸めた棒を手の代わりにしたカルタ大会で盛りあがりしました。

白沢支部



認知症予防のため4色あしびみラダーで交流しました。

「いざという時のための介護」をテーマに懇談会をベラヴィータで開催し60人が参加しました。演劇グループ「花音」の3人が大股骨頸部骨折と脳梗塞の2つの事例で介護が必要になる場合の寸劇を行い、鳥海訪問看護認定看護師が家族で介護をする際のポイントなどをゆくりゆくり分かりやすく解説しました。高橋専務補佐からは介護保険制度、サービス利用の流れ・種類、施設の違いなどについて講演もありました。

「地域医療・介護の懇談会」が5月21日に開催
参加者の声「分かりやすく、勉強になった」

6月4日(土) 利根中央病院の組合員ホールで初めての子育て応援企画「子育てを楽にする魔法」が開催されました。利根歯科関連医師、藤井歯科衛生士、病院杉木管理栄養士を講師に、12組29名の親子が参加しました。参加者のアンケートからは「本当に魔法のようでした」「知らなかったことや、今なにをするべきか分かりました!」との声をいただきました。

子育てを楽にする魔法開催

子どもの歯の保健教室

歯を削って詰める虫歯治療の体験や歯磨きレッスン、技工士体験など口の健康について一緒に楽しく学ぼう! 感染予防対策をとって安全に開催します。

参加費 500円
お土産あります

利根歯科診療所 日時 7月30日(土)13:20~15:30 持ち物 歯ブラシ 申込先 利根歯科診療所 ☎24-9418 締切 7月中旬(定員15人になり次第締切)	生協みなかみ歯科 日時 7月30日(土)13:30~15:30 持ち物 歯ブラシ 申込先 生協みなかみ歯科 ☎25-3399 締切 7月中旬(定員10人になり次第締切)
---	---

利根中央病院 当院での4回目 コロナワクチン接種について

3回目接種終了から5ヶ月経過した60歳以上の方に、コロナワクチン4回目接種の接種券が随時配布されています。当院でも4回目のコロナワクチンの予約を受け付けておりますので、ご希望の方はご予約をお願いします。

予約方法

- ①ホームページでの予約、②受診時の予約、③窓口での予約 の3通りです。

※電話での予約受付は、電話回線のひつ迫により、通常のお問い合わせや診療予約をされる方からの電話に影響が出ることを避けるため、見合わせております。

第8回 ハイキング・ウォーキング ラベンダーハイキング

現地集合・現地解散の企画
【日時】8月8日(月) ※雨天中止
9時30分集合 2時間程度
【集合場所】 たんばらラベンダーパーク (沼田市玉原高原 TEL0278-23-9311)
【参加費】 300円/人 (当日集金)
【持ち物】 履きなれた靴、飲み物、タオル、着替え、雨具、保険証 等
 ※昼食は用意していません。
 ※リフトを使う場合、料金は個人負担です。
【申込締切】 8月1日(月)まで

【申込先】 健康づくり委員会 事務局
生協くらしサポートセンター ☎0278-22-2300

SDGs訂正文

6月号2面のSDGs記事に誤りがありました。目標12の食品ロスの中で
 ● 390トン ⇒ 390万トン
 ● 643トン ⇒ 643万トン

LINE 始めました 公式アカウント

利根保健生協のとりくみや健康に関する情報などを発信します。
友だち募集中!
 生協くらしサポートセンター ☎0278-22-2300

生協 ハート市 出品者大募集 野菜が安い

日時 7月9日(土)・23日(土)
会場 とね虹の里 10時~11時
販売予定 野菜(ニンジン、ほうれん草、小松菜、じゃがいも、いんげん、なす、ピーマン)パン、蒸し鶏、赤飯、みそ田楽(コンニャク)
 生協くらしサポートセンター ☎0278-22-2300

作品募集

今月は39件のご応募ありがとうございました。連続して同じ方の作品を掲載しないこととしていただきます。なお、楷書でわかりやすく丁寧に書いてください。また、絵手紙や写真、手作り作品など分野にこだわらず作品を募集しています。
 〒三七八〇〇五三 沼田市東原新町一八六一の一
 利根保健生協「なかまの作品係」
 メール投稿 nakama@tonehoken.or.jp

俳句
 麦秋やウクライナへと世界の手 沼田市柳町 津久井 富子
 脱衣場に早き梅雨入り話かな 沼田市茶町 戸丸 雅代
 真青なる空の中より船尾滝 沼田市横町 宮田 君子
 雨をせる豌豆高し梅雨の空 沼田市新町 須藤 薫
 戦場の麦秋パンを食ふ不安 みなかみ町上津 林 明

短歌
 田舎道小川の音もあちこちに鍋釜洗った 津久井 四女子
 昔し懐 沼田市西原新町
 新緑の舞子の里の夕まぐれ過ぎ行く時を 沼田市薄根町 塩野 國造
 友と語りし 沼田市堀廻町 今井 栄一
 ロシヤ軍いつまで侵攻続けるか廢墟と化せし 沼田市堀廻町
 ウクライナの街 沼田市堀廻町
 草取りも辛くなりたる老いとなり畑を 沼田市堀廻町
 あきらめ野菜買いをり みなかみ町後閑 番場 正夫
 老いていまとんかんかに聴く耳はマスクと 沼田市堀廻町 林 いくじ
 眼鏡掛ける耳なり みなかみ町月夜野
 黄泉近い主枯れてもバラは咲き 沼田市薄根町 大竹 美鶴
 歯を磨く手間を省いた総入れ歯 みなかみ町後閑 藤田 俊彦

川柳
 川柳

なかまの作品

